



酒田地区私立幼稚園・

認定こども園連合会

教育・保育研究会が行われました。

R7、10月NO.2 認定こども園若草幼稚園・若草ベビールーム

こんにちは。認定こども園若草幼稚園・若草ベビールームです。秋晴れの心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしですか。園庭では、秋ならではの木の実がたくさん落ち遊びに取り入れたり、赤とんぼを追いかける元気な子ども達の姿が見られています。

さて、先日10月8日（水）に、酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会の研究会が本園を会場に行われ、酒田地区のこども園の先生達が来園し保育を参観していただいた後、全体会では本園の研究発表、担当学年ごとの分科会、文教大学短期大学部教授の奥山優佳先生からのご助言をいただきました。

本園の研究テーマ「主体性を育む環境とは～園庭の見直しを通して遊びの深まりを考える～」掲げ、2年継続で研究してきました。入園前の皆さんにもたびたびお話させていただくのですが、本園の魅力といえば「自然あふれる起伏に富んだ園庭」です。職員にも本園の魅力は？と聞くとみんな口をそろえて「やっぱり園庭でしょう！」と話します。そんな中で、「私たち職員が園庭の良さをわかってるの？」「自然を保育に生かしてる？」「恵まれた環境と思って安心してない？」「園庭で環境と関わる子ども達の姿がしっかり見れてる？」そんな疑問から始まった研究でした。

2年継続で勉強の機会をいただき、先生達で園庭の環境について「もっとこうしたい！」「こんなものがあつたらいいね～」と先生達の夢や理想、「やってみたい！」を出し合い改善してきました。実際に子ども達の遊びや動きが変わり、その姿を見取りまた環境を考えていく。その繰り返しの中で子どもの姿を今まで以上によく見ようとする姿勢が先生達に出来てきたことは大きな成果だと思います。また、子どもをいろいろな方向から見ようと先生達でアイディアを出し合ったり、保育者としての援助の幅が広がるようどんな保育者の関わりや環境の構成が必要かなど保育者間で話し合ったりし、先生達が子どものことを中心に研修を重ねてこれたと感じています。課題もたくさん見えてきました。「子どもを見取る視点をもっと広げたい」「遊びが広がるような環境構成や材料・素材は？」「毎日の保育の組み立てはどうか」「主体的な子どもを育むための保育って？」研究はまだまだ続きます。

新たな課題もたくさん見えてきた研修となりました。正解や終わりは無くずっと考え続けていくのが「保育」の醍醐味であり面白さでもあると思います。一緒に研修を重ねてきた職員の顔を見ると、子ども達と同じ！個性豊かで、豪華なラインナップ！先生達の持ち味を生かしつつ、「チーム若草」アイディアを出し合うことで、より保育の幅が広がっていくはず(^_^)これからも研修を重ねていきたいと益々やる気の先生達です。

11月22日（土） **なかよしうさぎの秋まつり** 10:00～11:30

未就園児とその保護者対象の園開放日です。親子で遊びにいらしてくださいね。

（持ち物）

内履き 水分補給用の飲み物 着替えなど各自必要なもの

*事前申し込みが必要です。

お申し込みは（22-2132）か、HPよりお申し込み下さい。

申込は
こちらから



つい先日まで猛暑だったように感じますがもう冬の訪れを感じる頃となりました。
皆様お元気でいらっしゃいますか？

ところで、皆様は『推し活』なるものはされていますか！？

最近よく耳にしますが、「推し活効果」は大きいようで、様々な企業で「推し活休暇」を取り入れ働く意欲向上に努めているそうです。もちろん、休暇の理由は問わないので、それまでも同じように休暇取得はあったかもしれませんが、堂々と「推しの存在」を公言できるのは時代の変化なのかもしれませんね。

さて、子ども達の世界はもともと「推しだらけ」です。アニメキャラクターやテレビのアイドル、ヒーローの他、恐竜や昆虫、車や新幹線など、詳しくなってその道の「博士達」がたくさんいます。

また、2歳クラスの〇ちゃんは、バス運転者さんのことを「かっこいい！」とお家でお母さんに伝えていたそうで、登園すると運転者さんの姿をさがし膝を独占しちょこんと座る姿がなんともかわいらしいです。名指しされた運転者さんは、ミドル？世代ですが、どんどん若返るようで(笑)推し活される方にとってもモチベーションアップの効果があるようです。

去年は前園長（住職）に憧れ「お坊さんになりたい」と言った年長児が、お寺や仏像に関心を持ち絵を描いたり制作をしたりしていました。また、本園が「サッカー」遊びが盛んなのも、前園長がかつては華麗に？ドリブルシュートを行う姿に憧れ刺激を受けた子ども達が自分達で練習し始めたことがきっかけでした。その姿に影響を受け年長から年中、年少へとつないでいったのだと感じています。「何か」や「誰か」に憧れ、やってみよう！と動きだしたり刺激を受けて極めていくような場面がたくさんあります。

さて、大人はどうでしょう？

大好きなものはありますか？

どなたか憧れの人はいいますか？

職場体験にきた中・高生に必ず話すことがあります。

「憧れの人はいいますか？〇〇さんみたいになりたい…という出会いを大事にしてくださいね」と。多感な時期に、友達ともちょっと違う「憧れ・尊敬の人」がいることが、その後の人生に大きくかかわるように思います。「そんな人」も「推し」に含められるかもしれないなあと思うこの頃です。

子育て中は、なかなか自分の時間がとれないかもしれませんが、時には心の声のままに「推し活」しどうか元気でいてくださいね。子ども達の一番の押しは「お家の皆さん」でしょう。

当園の先生達の「推し活」もかなりバラエティーに富んでいます。

機会がありましたら是非「推し」自慢聞いてあげてくださいね（笑）

またお会いできますことを楽しみにしております。